

動脈硬化性疾患予防の必要性

厚生労働省は、健康日本21というスローガンを掲げて、生活習慣病及びその原因となる生活習慣などの課題について、9分野（栄養、食生活、身体活動と運動、休養、心の健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、癌）ごとの数値目標を設定し、平成22年度を目標に達成を目指しています。その環境整備として、健康増進法により法的なサポートもしています。

今回は、主に循環器病の視点に立つて、動脈硬化性疾患についてお話ししたいと思います。

動脈硬化を引き起こす疾患群は、多岐にわたりますが、その中でも重要な疾患は、高血圧症、高脂血症、糖尿病です。以前これらの疾患は、全く別々に治療されることが当たり前でしたが、現在、これらの疾患は

互いに大きな関係があり、これらの疾患が重なる病態についても詳しく研究され、ひとまとまりの疾患群として、治療の必要性が重要視されています。

例えば、高血圧のみの方と高血圧に糖尿病が合併した方では、脳梗塞・心筋梗塞などの大血管を主体とする動脈硬化性疾患の発症の可能性が数倍にも増加します。また、血圧も以前は、140/90mmHg以下を正常、それ以上を異常と考えていましたが、疫学研究が進んできて、血圧は140mmHgより120mmHgの方がより病気を発症しにくいことがわかってきました。血糖も糖尿病型になる前の境界型の時点から、病気の発症頻度が増すと言われています。

循環器疾患に伴う死亡は、脳卒中・心筋梗塞を合わせると悪性新生物（がん）による死亡をはるかに超えています。

生活習慣の改善と予防、病気の早期発見・早期治療が大切だと考えます。



内科部長
ひろかね ゆうじ
広兼 祐二

第7回健康講座のご案内

期日 4月17日(火)
時間 13:30~14:30
場所 西伯病院1階 地域交流ホール
講師 高田先生(精神科医師)
内容 高齢者のうつ病について

日本全国でお年寄りの自殺が相次いでいます。年間約3万人とも言われる自殺者のうち、60歳以上の年代が最も多く、1万人を超え、その約8割がうつ病を患っていたという統計もあります。

「心の風邪」とも言われるうつ病は、誰にでも起こりうる病気です。早期発見、早期治療で克服することができますので、是非、この機会にうつ病についての正しい知識を身に付けましょう。

子ども歌舞伎が西伯病院にやってくる!

◇日時 平成19年3月30日(金) 午後2時開演
◇場所 西伯病院2階 「運動・多目的室」
◇演目 青砥稿花彩画(あおとぞうしはなのにしきえ)
白波五人男「稲瀬川勢揃いの場」

入院患者さまに楽しんでいただくために、法勝寺歌舞伎保存会の皆様のご協力により、公演していただくことになりました。どなたでも自由にご観覧いただけますので、お気軽にお出かけください。

